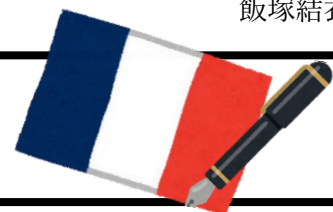


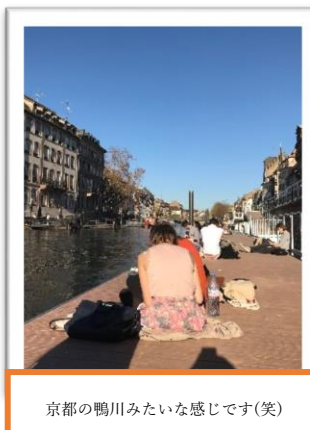
フランス便り

～2019年2月～

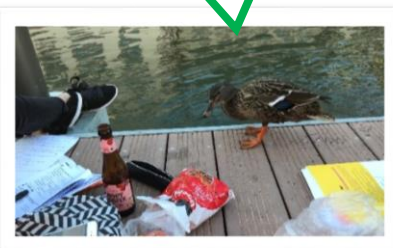
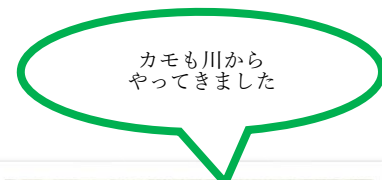


【はじめに】

Bonjour! ストラスブールに留学中の飯塚です。2月に入りもっと寒さが厳しくなっていると思っていましたが、だんだん晴れの日が増え、どちらかというと春のような感じです。最高気温が19°Cになっていた日もあり、半袖のTシャツを着ている人も見かけました。(私は寒がりなのでしっかり着込んでいます(笑)) 先週は語学学校の友達とイル川の近くで日向ぼっこをしながらお菓子を食ったりビールを飲んだりしました。私たちだけではなくたくさんの人々が日向ぼっこをしながら友達とお話したり、本を読んだり、仕事や宿題をしていました。



京都の鴨川みたいな感じです(笑)



【La Saint Valentin】

2月といえば La Saint Valentin (バレンタイン) ですね。フランスにももちろんバレンタインがありますが、日本のバレンタインとは少し違っていています。日本では一般的に女性が好きな人や友達にチョコレートを贈りますが、フランスでは愛を確かめ合う日で女性が一方的に贈り物をするのではなく、男性も女性もお互いに贈り物をするようです。(友達に贈り物をする習慣はないようです。) 日本ではチョコレートが主流ですが、フランスでは花束やカードが主流のようでバレンタインの前後ではお花屋さんに限らずスーパーなどでも花束が売られているのをよく見かけました。またこの日は恋人同士でディナーに行く人が多いようで、レストランでは恋人専用の2人席もたくさん作られるようです。(ちなみに、授業でバレンタインをテーマに話し合うことがあり、日本のホワイトデーを説明したところ他の国にはやはり無いようでみんな羨ましがっていました。)

フランスでは友達同士で贈り物をする習慣はないと書きましたが、日本と同じように友達に贈り物をする国もあります。私のクラスでは友達の提案でお菓子を持ってきてお互いに贈りあうことになり、先生も生徒もみんなで一緒にバレンタインを楽しみました。



【ルクセンブルクへ日帰り旅行】

先月の話ですが、私は語学学校の友達とルクセンブルクへ日帰り旅行に行ってきました。ルクセンブルクというのはフランスの上にある国で正式名称はルクセンブルク大公国といます。神奈川県と同じくらいの小さな国ですが、1人あたりのGDP(国内総生産)が世界一の国で、公用語はフランス語、ドイツ語、ルクセンブルク語の3か国語が使われています。フランスとルクセンブルクはシェンゲン協定に加入しているため、フランスのビザで行き来することができます。私は11月にストラスブールの近くにある小さな村をまわる日帰りのパッケージツアーに参加したことはありましたが、今回は友達に教えてもらいながら初めて自分でバスやTGV(新幹線のようなもの)の予約をしました。

私たちは朝6:30発のバスでMetzという街に行き、そこからTGVに乗り換えてルクセンブルクに向かいました。市内は徒歩でも3時間ぐらいで見て回れるとインターネットに書いてあったので、私たちは約4時間半ルクセ

～ルクセンブルク日帰り旅行日程～

Strasbourg 出発 (6:30)
↓バス
Metz 到着 (8:30) & 乗換え
Metz 出発 (9:09)
↓TGV
Luxembourg 到着 (9:52) & 観光
①Pont Adolphe (アドルフ橋)
②Place de la constitution(憲法広場)
③Cathédrale Notre-Dame (ノートルダム大聖堂)
④Place Guillaume(ギョーム広場)
⑤Hôtel de ville de Luxembourg(ルクセンブルク市庁舎)
⑥Palais Grand-Ducal(ルクセンブルク大公宮)
⑦Casemates Bock (ボックの砲台)
⑧Oberweis (オーバーワイス)
Luxembourg 出発 (17:00)
↓TGV
Strasbourg 到着 (17:53)



ンブルクに滞在し Metz を 1 時間観光する予定でした。しかし、実際に観光してみると全然時間が足りなかったため、Metz の観光は諦めることにし、電車の時間を変更して予定より 1 時間長くルクセンブルクを観光しました。(それでも時間は足りなかったので、1 日かけての観光をおすすめします！)

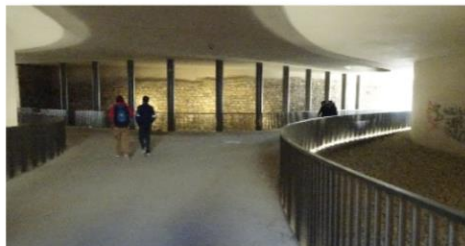
ルクセンブルクでは①Pont Adolphe (アドルフ橋) ②Place de la constitution(憲法広場)③Cathédrale Notre-Dame (ノートルダム大聖堂) ④Place Guillaume(ギヨーム広場)⑤Hôtel de ville de Luxembourg(ルクセンブルク市庁舎)⑥Palais Grand-Ducal(ルクセンブルク大公宮)⑦Casemates Bock (ボックの砲台) ⑧Oberweis (オーバーワイス) の全 8 か所の場所に行きました。今回は私が特に良いと思った①③⑥⑦⑧の 5 か所を簡単に説明したいと思います。

①Pont Adolphe (アドルフ橋)

この橋は 19 世紀に建て替えられた橋で、元々の橋は建設された時世界で 1 番大きな石造のアーチ橋といわれていたそうです。全長は 150m あり、もっとも高い場所は 42m あるそうです。数年前に修復工事が行われ、とてもきれいに整備しており、車もたくさん走っていたため普通の橋とあまり変わらないように思っていました。橋を渡り全面を見ると石造りの素敵な橋でした。ちなみに橋の上からはベトリュス溪谷とルクセンブルクの街を見渡すことができ、美しい景色を楽しむことができました。またこの橋の下にはもう一つ橋がありそこを渡れば溪谷をもっと近くで見ることができます。私も友達も高所恐怖症のためどうするか迷いましたが、せっかくなので渡ることになりました。下の橋もきちんと整備されており道幅もかなりあるため全然怖くはなかったです。



Pont Adolphe (アドルフ橋)



アドルフ橋の下の橋

③Cathédrale Notre-Dame (ノートルダム大聖堂)

この教会はルクセンブルクを代表するカトリックの教会で 17 世紀に建てられ、ルネサンス様式やバロック様式、ゴシック様式など様々な要素が混じっている教会です。教会の中には 0.7 メートルの聖マリア像や色鮮やかなステンドグラスがたくさんありとても素敵でした。様々な要素が混じっているせいかステンドグラスは場所によって画風が違っていたり、教会内にある 10 本ある柱もそれぞれ柄が違っていたりと見ていて面白かったです。またパイプオルガンがたくさんあることにも驚きました。



教会の外観



教会の前方



教会の後方

⑥Palais Grand-Ducal(ルクセンブルク大公宮)

この建物は旧市街に堂々と建っており、石造りの装飾やバルコニーが素敵な建物です。現在は大公が執務をしたり、迎賓館として使われているようで建物の正面に国旗が掲げられているときは大公が執務中の目印だそうです。また近衛兵がおり、毎日 10 時~18 時までの間 2 時間ごとに交代式が行われているようです。



見えにくいですが、旗が掲げてありました！



Palais Grand-Ducal(ルクセンブルク大公宮)